



血液オプション検査のご案内

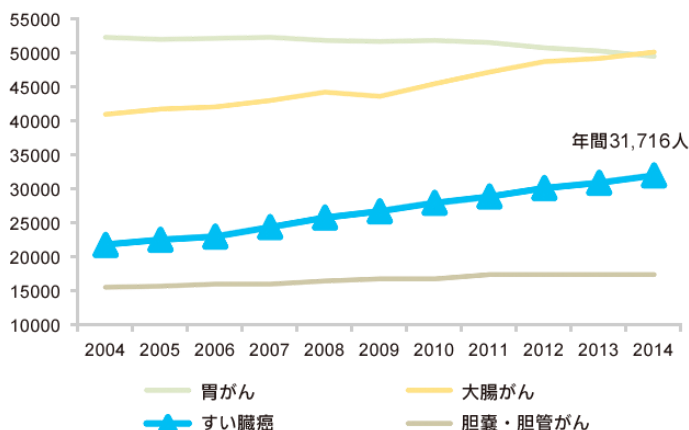
すい臓がんのリスク検査

Prodrome-PAC (プロドローム・ピーエーシー)

◆ すい臓がんは早期発見が重要

すい臓がんによる死亡者数は上昇傾向にあり、年間の死亡者数は年間3万人を超えるとされています。また、消化器系のがんのなかでも痛みなどの自覚症状が少なく、早期発見が難しい上に、進行が早く重症化してしまうケースが多いとされています。そのことから、がんの中でも対処が難しい「最悪のがん」として知られています。

消化器がんの部位別死亡者数



		ステージ	5年生存率(%)
すい臓	進行	IV	3~11
		III	24
		II	44
	初期	I	57

早期に発見出来れば、効果的に治療できる可能性が高まります。

◆ Prodrome-PAC検査とは

すい臓がんのリスクを調べる血液検査です。すい臓がん患者の血中で特異的に減少する、6種類の長鎖脂肪酸“PCファミリー”を測定し、すい臓がんのリスクを判別しています。

採血のみの簡単な検査で、**早期発見・早期治療のきっかけ**として利用頂くことが可能です。

こんな方にオススメです！

- ◎ **タバコ**を毎日吸う。
もしくは吸っていた方
- ◎ **週に5日以上お酒**を飲む方
- ◎ **高血糖**の持病がある方
- ◎ **肥満（肥満気味）**の方
- ◎ **血縁家族**にすい臓がんになった方がいる方



報告レポートイメージ

検査結果と、結果に対する
評価コメントを記載

検査に関する情報と予防する
ためのヒントアドバイス付き

検査と結果判定に対する
コメントも記載

Prodrome-PAC すい臓がんリスク検査 - 結果報告書

カルテID	0989999999	氏名	テスト一郎	種	
受診日	2018/2/13	性別	男性	年齢	70

すい臓がんリスク判定結果

Prodrome-PACの結果、長鎖脂肪酸の値は、レベル 18 と やや減少が見られ
すい臓がんのリスクは **中リスク** と判定されました。

総合評価コメント

今回の検査結果では長鎖脂肪酸の値はやや低く、すい臓がんのリスクは中リスクと判定されました。
必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をご検討下さい。

検査受診後について

低リスク *レベル: 25~100	<ul style="list-style-type: none"> 健康的な生活習慣の維持 リスク因子の軽減による予防
中リスク *レベル: 11~25	<ul style="list-style-type: none"> 定期的ながん検診やリスク検査の受診 (Prodrome-PAC テストの再受診の目安) 低リスク1~2年、中リスク半年~1年
高リスク *レベル: 0~10	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関とご相談の上、 専門医の受診をご検討下さい。 ※ 必要に応じて無型検査(血液検査)の実施を検討します。

※あくまで一例です。必要に応じて専門医の受診や精密検査の受診をお勧めします。

Prodrome-PACで低・中リスク判定だった方に…

すい臓がん発症の危険性を増加させるリスク因子がいくつか報告されています。
予防の第一歩として生活習慣の改善をお願いします。

糖尿病	すい臓がん患者の既往歴をみると、糖尿病が25%以上と最も頻度が高くなっています。そのため、糖尿病はすい臓がんのリスク因子の一つと考えられています。	喫煙	喫煙はすい臓がんの発症危険度を2~3倍に増加させると報告されています。また、糖尿病化やその他のがんのリスク因子としても考えられています。
アルコール	アルコール1日3杯以上摂取する方は、すい臓がんのリスクが高くなることが報告されています。 *中量120g換算 1杯 = 20g、12杯	肥満	肥満はすい臓がんのリスクを増加させることが報告されています。BMI(体格指数)が25以上の方では、それ以下の人に対してすい臓がんを患えるリスクが2倍ほど高まるとされています。

Prodrome-PACで高リスク判定だった方に…

すい臓がんは進行が非常に早く、自覚症状も少ないことで知られています。本検査で高リスク判定だった方には必要に応じて専門外来の受診や精密検査の実施をお勧めします。(下記は実施例です。)

超音波内視鏡	CT検査	MRI(MRCP)
<p>超音波装置を先端につけた内視鏡を用いて行われる検査です。体表からの腹部超音波検査とは違い、対象となる部位に近い状態で検査を行うことが可能です。</p>	<p>X線とコンピュータを用いた、すい臓の画像を撮影する検査です。病変の大きさや位置、広がりを精密に把握出来ます。</p>	<p>強力な磁気を用いて、造影剤を必要とする検査です。MRCP(MR胆管造影)はすい臓の中心にある「胆管」や、胆汁を流す「膵管」を中心に検査することが可能です。</p>

Prodrome-PACについて

検査概要

本検査では経腸の長鎖脂肪酸(以下 PCファミリーと記載)の血中濃度を測定しています。これらは健康な状態からすい臓がんになった場合に減少すると考えられています。

人体では、慢性的に過剰な炎症が生じたり、古くなった細胞が蓄積することでがんが出来やすくなると考えられています。PCファミリーはこれを抑制することでがんが発生することを防ぐ働きがあると考えられています。そのためPCファミリーの減少は、すい臓がんの発症リスクを高める可能性があると考えられています。

*1 長鎖脂肪酸:細胞を構成する物質で、その種類や量がまちまちの働きがあります。

結果判定

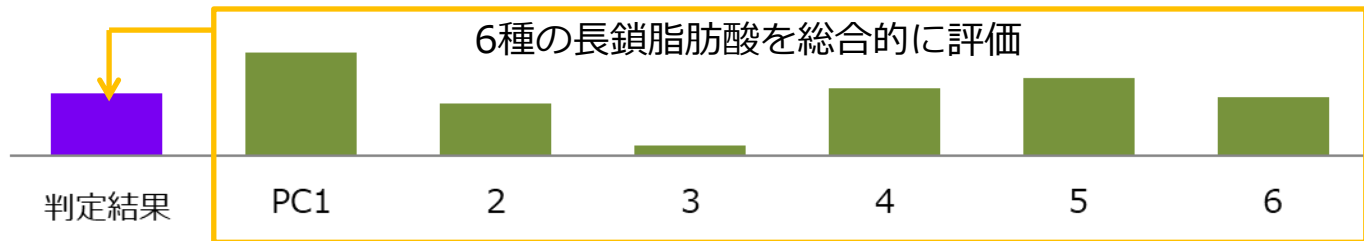
PCファミリーが非常に少ない場合は高リスク、やや少ない場合は中リスク、十分に存在する場合は低リスクと判定します。
中リスクの場合、低リスクに比べてがんが見つかる確率が20倍近く高くなります。高リスクの場合では、低リスクに100倍以上高くなります*2。

*2 55-59歳男性の割合: 中リスク/低リスク = 22倍、高リスク/低リスク = 166倍

受診後の対応

生活習慣を見直しリスクの低減に努めるとともに、定期的な検査の受診をお勧めします。また、必要に応じて、精密検査を受けることをお勧めします。

◆ 評価方法



【低リスク】
発見確率
1人/10,000-20,000人

【中リスク】
発見確率
1人/1,000-2,000人

【高リスク】
発見確率
1人/100-200人

Prodrome-PACをスクリーニングに用いることで
すい臓がんの早期発見・早期治療の可能性を高めることが可能です

- ※ Prodrome-PACはすい臓がんのリスクを判定する保険未記載の検査です。
- ※ すい臓がんの有無をProdrome-PACの結果のみで判定する目的で行う検査ではありません。
- ※ 他検査の結果と併せて今後の検査・治療方針の検討にお役立て頂くことをお勧めいたします。